

## 中期経営計画（2021年度～2023年度） 【概要版】

<p><b>【 経 営 理 念 】</b></p>	<p>わたしたちは、日本経済の中で大きな役割を担う中部圏の「ものづくり産業」を物流面でしっかり支え、地域経済の発展、市民生活の向上及び国際的な通商の伸展に貢献していきます。</p>
<p><b>【 経 営 方 針 】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様の要請に真摯に向き合うことでベストサービスを追求し、選ばれる港湾を目指します。</li> <li>● 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の港湾機能を最大限に利活用し、一元的な管理による相乗効果の創出、効率的な運営を推進します。</li> <li>● 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の先進性、優位性をアピールする営業戦略を展開します。</li> <li>● 作業の安全性向上に配慮するとともに、大規模災害時にも物流機能が確実に確保できるように、安全・安心な施設提供に努めます。</li> <li>● 温室効果ガス削減に配慮した施設提供など、環境負荷の低減に努めます。</li> <li>● 持続可能な健全経営の視点に立脚し、柔軟かつ公正な会社運営を目指します。</li> </ul>
<p><b>【基本戦略と 主な取り組み】</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンテナターミナルの効率的運営・機能強化 船舶大型化や取扱能力の向上等の機能強化、情報化の進展や技術革新への対応等による効率的な運営の推進</li> <li>2 港湾利用の促進 港湾管理者、利用促進協議会、商工会議所等と連携した利用促進</li> <li>3 安全・安心、環境に配慮した施設提供 大規模災害発生時の早期復旧、感染症流行時における水際対策、脱炭素社会の実現に配慮した施設提供</li> <li>4 安定した事業運営 コスト低減、運営体制の強化による安定かつ公正な事業運営</li> <li>5 施設提供と外貿コンテナ取扱個数 2023年度の施設提供（岸壁、コンテナヤード、ガントリークレーン）、外貿コンテナ取扱個数（285万TEU）</li> </ol>